

ふりがな 氏 名	よこやま はやみ 横山 早美	職 名	准教授
取得学位	博士(工学)	学会での受賞歴	学会賞(年度賞)「木綿の染色における濃染固着剤の効果に関する研究」社団法人日本繊維製品消費科学会, 51(7),538-539,(2010)
主な担当科目	色彩学, 染色加工学, 被服材料学		
所属学会	社団法人日本衣料管理協会, 日本家政学会, 繊維学会, 日本色彩学会 1.日本家政学会第36回研究発表会および講演会運営委員(H26年10月) 2.日本繊維製品消費科学会2014年次大会実行委員(H26年1月～11月) 3.一般社団法人繊維学会繊維学会創立70周年記念事業顧問(H25年3月) 4.日本家政学会関西支部京都地区幹事(H24年4月～H28年3月) 5.日本家政学会代議員(H24年1月～H28年3月) 6.日本家政学会関西支部京都地区幹事(H20年4月～H22年3月) 7.2021年度日本家政学会中部支部大会実行委員(令和2年3月～令和3年10月)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
I 教育方法の実践例		
1.初夏の涼風‘うちわ’展示	R 元年 6月(3～15日)	染色加工実習の第11～14回は染色体験として工芸染色を実施する。その中の1つの技法体験では、和紙と顔彩を用いて型染技法による‘うちわ’を制作し、本学図書館ギャラリーにて展示を開催した。
2.植物染料による伝統色の再現へ‘かさねいろ’展示	R 元年 11月21日～12月2日	令和元年度の卒業研究「植物染料による伝統色の再現への試み」で制作した絹生地に茜、紫根、紅花、藍で染め、平安時代のかさね色目に近似した色相で配色した染布を本学図書館ギャラリーにて展示を開催した。
II 作成した教材		
1.「色彩学」授業用教材の作成	R 元年度	本講義の目的は、「人が色を認識するしくみ」や「色の分類・識別方法」などを理解するために必要な光学・生理学・心理学など科学的な基本要素を身に付けることにある。また、色彩検定・カラーコーディネーター検定試験対策を意識した講義である。本教材はAFT色彩検定3級編ならびに色彩学関連書籍を参考として作成し、テキストスタイルアドバイザー必修科目の教材(配布資料・パワーポイント)として使用する。一方、テーマごとの確認小テストを作成し、それを用いる。
2.「色彩学演習1・2」授業用教材の作成	R 元年度	色彩学で学んだ知識を基礎とし、「色の表示方法」「色の測定」に関する理解を深めるための解説と演習教材(配布資料・パワーポイント)はテキストスタイルアドバイザー必修科目の教材として作成する。授業では、色彩色差計(KONIKA MINOLTA CR-400 D65)を用いて色の測定を体験させる。一方、演習問題は配色理論に基づいた色彩構成を修得するためのテキストを作成し、使用する。また応用編では、アクティブラーニング学習法を取り入れ、色

事 項	実 施 年月(日)	概 要
3. 「テキスタイル材料学」授業用教材の作成	R 元年度	<p>彩の視点でファッション・インテリア分類したポジショニングマップを作成し、受講生にはそれについての発表を課す。</p> <p>ファッション・インテリア材料として使用される繊維・糸・布の基礎知識の修得を目的したテキスタイルアドバイザー必修科目の教材テキストを作成する。また、近年の快適素材や企業のサステイナブルへの取り組み等について、織研新聞・文献をまとめた資料を作成する。授業では学生に問題意識をもたせる工夫として、アクティブラーニング学習法を取り入れ、学生自らそれらの資料から興味ある内容についてさらに調査した事柄についてのレポートならびに発表を課す。</p>
4. 「テキスタイル材料学実験」授業用教材の作成	R 元年度	<p>衣料品の品質管理や消費者からの苦情処理に対応できるよう衣料素材の鑑別法やその特性を実験データから読み取り考察できる能力を育成することを目的としたテキスタイルアドバイザー必修科目の教材テキストを作成する。</p>
5. 「染色加工学」授業用教材の作成	R 元年度	<p>染色された素材について染色加工という視点からその加工工程、染料の種類と性質、浸染や捺染の方法、特殊加工の基礎知識を修得することを目的としたテキスタイルアドバイザー必修科目の教材テキストを作成する。また、近年の話題となる染色加工業界の現状やサステイナブルへの取り組み等について、織研新聞・文献をまとめた資料を作成する。授業では学生に問題意識をもたせる工夫として、アクティブラーニング学習法を取り入れ、学生自らそれらの資料から興味ある内容についてさらに調査した事柄についてのレポートならびに発表を課す。</p>
6. 「染色加工実習」授業用教材の作成	R 元年度	<p>染色加工学の講義内容に基づき、第1～10回実施する精練・漂白・染色・堅ろう度試験等の実験テキストを作成する。また、第 11～14 回染色体験では工芸染色を取り入れ、捺染は和紙を用いた糊型染、浸染は絞り染め方法による教材テキスト並びにパワーポイントを作成する。</p>
Ⅲ その他 1. オープンキャンパス学科講座 商品の売れ行きは色で決まる！	H30 年度	<p>商品コンセプトが決まると、それに基づいた色彩計画が展開されます。商品の売れ行きは、消費者に商品イメージを伝えることが重要です。実際に商品コンセプトにそった色彩計画を行い、その商品が消費者に伝わったかチェックしましょう！（パンフレット文章抜粋）<u>横山早美</u></p>
2. R2年度入学前教育 生活環境学科(衣領域)	R 元年度	<p>インターカラー (INTERCOLOR) は、世界各国のカラーの</p>

事 項	実 施 年月(日)	概 要
3. 2020‘春・夏インターカラーを企画しましょう！		<p>専門家が集まり、年に2回、シーズン毎のカラートレンドの方向性を検討する会議である。日本では一般社団法人日本流行色協会が出席する。インターカラーの情報は、実シーズンの2年前という早い時期に選定され、その後の様々な分野のカラー動向に大きな影響を与える。設問1では、2020年の世界、日本社会(経済・人々の生活・環境等)はどのようにになっているか、自由に想像したことを記述させ、設問2は、設問1からイメージするキーワードを3つ挙げさせ2020年春・夏インターカラーを提案させる。これらの問題作成ならびに説明3回を実施。また、提出された2回の課題に対する講評を行った。<u>横山早美</u></p>
4.令和元年 オープンキャンパス 学科講座 便箋・封筒・ハガキを作りましょう！ ～和紙を用いた型染～	R 元年度 7月 21 日	<p>市販型を用いて和紙に顔彩で染色します。そのため、色彩は日本画風の落ち着いた便箋・封筒・葉書に仕上がります。また、型紙にイニシャルを彫って彩色することもできます。是非、お友達にオリジナルレターセットで、LINE とは異なったツール方法のコミュニケーションを！ (パンフレット文章抜粋)<u>横山早美</u></p>
5.COLOR no.173 2019 年度色彩管理士第 14 期認定者の紹介文掲載	R2 年 11 月 30 日	<p>私の専門はファッション関連のため、「景観色彩計画の実際」は新鮮で興味深い内容でした。常々、ヨーロッパに比べ日本の街並み景観の悪さが気になっていました。しかし景観法施行が15年前と知り、その疑問も解決しました。次に、印象深かった「実習で学ぶ一色の混色方法」では4色の絵の具で指定色を作るのに悪戦苦闘したことが懐かしく思い出されます。今後は、色彩管理士講座で得た知識・技能を色彩の授業に活かさせていただきます。</p>
6.スプリングオープンキャンパス模擬授業動画 「色の視覚効果」	R3年 3月12日	<p>私たちが見ている色の世界は、一つの色だけで構成されていることはない。色と色とが隣合ったり、また、ある色を背景にして、別の色を見ている。普段の生活ではそれらを意識せず見ているが、その色だけで見た時とは異なる色の見え方に変化が生じる。また、ある色を見た後に別の色を見ると、最初に見た色の影響によって、後から見る色は変化して見える。 このように、空間的、時間的に近接した色はお互いに影響を及ぼし、その色の見え方に変化が生じる。 それでは、実際に体験して頂きましょう。</p>
7. スプリングオープンキャンパス模擬授業 「色はなぜ見えるのか」	R3年 3月12日	<p>私たちが色を見るということは、光源と物体そして視覚(眼)の三つの要素が必要である。光とは電磁波の一種で、波長の長さによって長波長、中波長、短波長の三つに分けることが出来る。物体に光が当たると、反射、吸収、透過のいずれかの経路をたどる。私たちが色を見るとは、物体に光が当たり反射、透過した光が視覚に入り、網膜に達した光は視細胞で感じ、そこで神経信号に変換され、脳へと送られ視覚となる。</p>

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	天然染料の色彩に関する研究	単	R3年3月	名古屋女子大学 / 紀要・第67号	<p>筆者は、天然染料の染布の実用化に向けた1つの試みとして、デザイン企画の際に簡易に色彩配色が可能な PCCS ヒュートーンシステムの作成を試みた。なお、本実験では色彩のみに着目して行ったため、染色方法や染液の配合調整に関しては一定の規則性については考慮せず、得られた染布の色彩のみについて行った。</p> <p>試料布は天然染料が最も美しく染まる絹布、また色材は選択した4種類を用いて基本染布を作成した。一方、染液はそれらの色材から抽出した赤色素・黄色色素・青色色素・紫色色素を配合した染液を使用した。次に、得られた染布の色彩は色彩色差計を用いて L*a*b*表色系、マンセル値を測定、次にその数値を用いて PCCS 表色系変換からのヒュートーンシステムの提案である。</p>
論文	肌色とパーソナルカラーとの関係	共	R4年3月	名古屋学芸大学メディア造形学部 研究紀要 vol.15	<p>本報の肌色とパーソナルカラーとの関係における検証では、被験者は通常の化粧、髪の色でPC診断を行うため、その人の基本の色(肌、目、髪の色)がパーソナルカラーに影響する。実際のPC診断では、判定者は主観的な視感評価で被験者の肌色からアンダートーンそしてカラードレープから、その人の基本の色が生き生きと輝くシーズンカラーを判定する。そして、その両者の総合評価から被験者のパーソナルカラーを決定した。</p> <p>判定者は何れも主観評価で行い、得られたデータはマンセル表色系(HV/C)で表示した。次に、それらのデータを色彩集計ソフト PCCS Color Calc で PCCS 表色系(トーン・色相)に変換し、肌色とパーソナルカラーとの関係を分析した。</p> <p>その結果、顔の肌色とパーソナルカラーは、その人がもつ肌色がそれに強く影響する場合と基本の色</p>

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
					<p>(肌, 目, 髪の色)が総合的に影響する場合の2つに分かれた。 また, 肌色のみという限定したPC診断を想定した際の顔肌色の代用身体部位として手の肌色に着目し, 顔と手の肌色の有意についての検討を試みた。</p>